

ちづ 智頭 議会 だより



町の花
どうだんつつじ

鳥取県智頭町議会
第167号
発行：令和6年8月27日

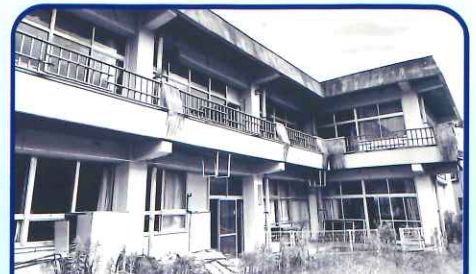


ちづ保育園

平成29年4月にあたご保育園と諏訪保育園が統合し開園

- ☆ 令和6年 **7月定例会** ...P2
- ☆ 令和6年 **6月臨時会** ...P3
- ☆ **特集 子育て支援策の現状** ...P4
- ☆ **8人の議員が町政に質問** ...P6～
- ☆ **各常任委員会の報告** ...P11～
- ☆ **町民の声(那岐地区)** ...P16

智頭の思い出シリーズ56



令和6年に、貯水槽の整備により、解体される旧あたご保育園

旧あたご保育園
昭和49年度 開園
開園当時 定員：100名
対象年齢：(1歳児～3歳児)
平成29年度 閉園

児童手当給付費

【児童手当の拡充】 児童手当は、2024年から変わります！

何人分を想定しているか。

640人分。



1,364万円

財源内訳：全額国費

	現在	拡充案
0～2歳	1万5000円	1万5000円
3歳～小学生	1万円 <small>第3子以降 1万5000円</small>	1万円 <small>第3子以降 3万円</small>
中学生	1万円	1万円
高校生	なし	1万円
	所得制限あり	所得制限なし

(金額は月額)

人事案件 岡 大翼氏を智頭町教育委員会委員に任命

6月臨時会

【条例の一部改正】

智頭町定住促進賃貸住宅の設置及び管理に関する条例

令和5年度に3棟を整備したことに伴う改正で、既に3棟とも入居者が決定している。



財産の取得

住民から要望の多かった集落内の小型歩道除雪機を新たに10台分取得するため。



工事請負契約の締結 町道坂原錦橋橋梁修繕工事

- 工事場所 智頭町大字智頭地内
- 契約者：株式会社 谷口工務店
- 契約方法：指名(3社)競争入札

工事請負金額

5,247万円



錦橋 … 昭和17年完成

第1回臨時会が6月14日に行われ、専決議案4議案、条例改正など5議案、報告案件3件を可決しました。

一般会計補正予算
減額 4千275万円
↓ down

7月定例会

定額減税調整給付金

(物価高への支援の一環) ※詳細は税務住民課へ

「定額減税しきれないと見込まれる方」への給付金2,000名分。

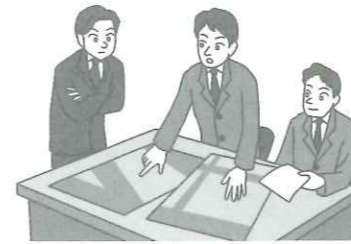


7,800万円

財源内訳：全額国費

地方創生事業委託料

「スタートアップしやすいまち」を目指して、オープンイノベーション事業を行い、中間支援組織を立ち上げる。



600万円

財源内訳：全額国費

※オープンイノベーションとは… 新たな価値を創出すること。

DX専門人材負担金

専門員には、来てもらうのか。



課長

来てもらう事もあり。Webでの相談も想定している。



議員

県内の自治体が共同で、専門的な知識を持った方からアドバイスを受ける。**50万円**

財源内訳：全額町費

※DXとは… データやデジタルを活用し、技術に社会に浸透させ、人々の生活をよりよいものへと実現する。

わが町支え愛活動支援事業補助金

何集落分の予算か。



課長

11集落分の見直しを予算化している。



議員

支え愛マップの見直しを支援する。**33万円**

財源内訳：全額町費

陳情の審査結果

件名(要約)	提出者(要約)	審査結果
① 陳情書 —新見川に係る河川改修等について—	新見部落区長 河村 幸寿 消防分団長 河村 雄太	趣旨採択
② 要望書 旧山郷小学校の芝生化について	一般社団法人 山郷地区振興協議会代表理事 山郷地区公民館長 山郷社会福祉協議会会長 山郷老人クラブ会長 山郷グラウンド・ゴルフ代表	採 択
③ 智頭町森林組合管理道に関する要望書 (智頭町森林組合管理林道の智頭町管理への計画的移管について)	智頭町森林組合 代表理事組合長 大谷 豪太郎	採 択
④ 智頭町森林組合管理道に関する要望書 (智頭町森林組合管理の林道ワラビオ線(福原)の町道認定・移管について)	智頭町森林組合 代表理事組合長 大谷 豪太郎	採 択
⑤ 智頭町森林組合管理道に関する要望書 (智頭町森林組合管理の林道尾ノ見谷線(尾見)の町道認定・移管について)	智頭町森林組合 代表理事組合長 大谷 豪太郎	採 択
⑥ 智頭町尾見部落内溪流に治山堰堤設置を求める陳情書	尾見部落区長 青木 純一	趣旨採択
⑦ 地方財政の充実・強化を求める陳情	智頭町職員労働組合 執行委員長 森本 敦子	採 択
⑧ 智頭病院に耳鼻咽喉科の復活を求める陳情	藤森 一美	趣旨採択
⑨ 河原町三丁目地内の除雪路線の延伸に関する要望書	河原町三丁目町内会 会長 田中 信一	採 択
⑩ 河原町三丁目地内の道路改修に関する要望書	河原町三丁目町内会 会長 田中 信一	採 択

【趣旨採択の理由】

- ① 願意は理解できるが、河川の管理は管轄が県であるため趣旨採択とした。
- ⑥ 砂防堰堤設置は、緊急度や優先度は認められるが、管轄が県であるため趣旨採択とした。
- ⑧ 願意は理解できるが、平成16年より研修医が勤務地を自由に選べることになり、結果として現在の地方の医師不足となっている。智頭病院も努力しているが、医師確保の目途がたたないため趣旨採択とした。

■ 陳情書は定例会が始まる10日前までに提出ください。(土・日・祝日を除く)



陳情 受付

詳しくは、議会事務局にお問い合わせください。

TEL: 75-3115
gikai@town.chizu.lg.jp

こんにちは!子育て支援!!

特集

「人口減少対策について考える」

◆ まちの子育て支援の現状(経済的支援)

※詳しくは福祉課、教育課、税務住民課へお尋ねください。



子どもは町の宝



まちの話題

「まちの話題を募集します。」新しいお店の情報、おすすめスポットの紹介、地域のイベント情報意外と知られていない、智頭のことなど、皆さんからの情報提供をお待ちしています。

問 地域担当コーディネーターは2名ということだが、公民館や振興協議会の意見を伝えたり、地域に貢献する子どもを育てていくためには、各地区に1名ずつ設

答 教育長 学校担当コーディネーターと地域担当コーディネーターが連携を密にして、本当に素晴らしい取り組みになっていると感じている。地域と共にある学校となるように、していきたいと考えている。



コミュニティスクールの活動の様子

問 令和4年度に学校運営協議会が設置され、令和5年度には、地域コーディネーター3名が任命された。今後、どのように展開していく考えか。

答 教育長 各地区に一人置き、長考の考えは、置くべきと考えるが教育長

答 教育長 各地区に一人置き、長考の考えは、置くべきと考えるが教育長











安道 泰治

学校運営協議会

教育長／地域とともにある学校に
学校運営協議会の今後の展開は

8人の議員が一般質問に臨みました!!

議員名 / ページ / 質問項目/QRコード	議員名 / ページ / 質問項目/QRコード
安道 泰治 (P 7 上段)  <ol style="list-style-type: none"> 1. 共助交通を活用した新たな物流システム構築事業について 2. コミュニティースクールの現状と今後の事業展開について 	西尾 寿樹 (P 9 上段)  <ol style="list-style-type: none"> 1. 災害対策と支え愛・防災マップについて 2. ふるさと納税について
大河原 昭洋 (P 7 下段)  <ol style="list-style-type: none"> 1. 住民満足度の高い町政について 	仲井 莖 (P 9 下段)  <ol style="list-style-type: none"> 1. 町民の満足度を上げるための取り組みについて 2. 人口減少対策について 3. 智頭病院経営強化プランの実現にむけて
岡田 光弘 (P 8 上段)  <ol style="list-style-type: none"> 1. 金児町政の2期目の取り組みについて 	波多 恵理子 (P10 上段)  <ol style="list-style-type: none"> 1. 子育て支援について 2. 庁舎、総合センターの建て替えについて
北川 貴将 (P 8 下段)  <ol style="list-style-type: none"> 1. 共助交通に関する問題の対策について 	谷口 翔馬 (P10 下段)  <ol style="list-style-type: none"> 1. 住民満足度について 2. 定住対策について

※一般質問の録画をスマートフォンやパソコン・IP電話で見ることができます!

■スマートフォン・パソコンを使って検索

QRコード読み取り



智頭町議会録画放送

検索

■IP電話で視聴

- ①ホーム画面
- ②次ページ
- ③智頭町議会

②次ページをタッチする



上記の順番でタッチして下さい。「智頭町議会録画放送」の画面が表示されます。



大河原 昭洋

町民満足度

町民の評価は、町長／施策啓発のためにも検討する

問 町長選挙では昭和56年以来、実に43年ぶりとなる無投票での再選となった。無投票ではあったが、今後4年間を町民から託されたことになるので、智頭町の将来像として、どのような町政運営を描き考えているのか。



「元気いっぱい!!」ちづ保育園の園児たち

答 町長 基本的には、1期目の目標と変わらないが、これまでやってきたことの補足や確実性を増すこと。その中でも、重点的に考えていることは人口減少、少子高齢化への対応、ここに尽きると思う。

答 町長 各女性団体のトップの10人くらいと話をしたときに、給食費の無償化や保育料の無償化を知らない方が約半分いた。今ある制度を町民皆様知っていただくためにも何らかの方法を考える。

問 町長の考え方や役場の進める方向性が、しっかりと町民の望むものになって



岡田 光弘

金児町政

2期目はどのような取り組みをするのか

町長／継続した取り組みを
していく

問 2期目の金児町政がスタートしたが、1期目の課題をどのように認識し、2期目に何を重点的に取り組み、方向性をどのように住民の皆様と共有するのか。

答 町長 1期目で取り組んできたことを継続し、住民の皆様の声聞きながら、高齢者から若年層にいたるまでのすべての住民の満足度を向上させていきたい。情報共有については、広報誌やホームページのほか直接住民対応を図る機会を多く作りたい。



豊かな源流の渓谷

問 令和6年度の出生数は10人となりそうである。急激に進む人口減少、少子高齢化に対し、どのような危機感を持ち、持続可能な町づくりを展開していくのか。25年後に3,000人を切る予測に対してどのように備えるか。

答 町長 よそのやり方をすべて取り入れることはせず、自信をもってこれまでやってきたことを続けていきたい。25年先のことを考えてもあまり意味がない。そういう状況になったときに考える。人口減少が続く中でも住民が地域で活躍できる町づくりを進めていく。



西尾 寿樹

ふるさと納税

体験を返礼品にしては

町長／いい提案、協議を進める

問 全国の自治体が返礼品に工夫を凝らす中、本町も試行錯誤され返礼品に取り組んでいるが、付加価値のある体験も返礼品にあり得るのではないかと思う。日南町では、根雨駅の駅長・駅員体験を返礼品にされている。開業30周年を迎えた智頭急行も、鉄道イベントとして、「鉄道の運行を支える仕事体験」を色々と企画されている。本町にはJR智頭駅と智頭急行があるので、是非とも、JR西日本や智頭急行と連携を深め盛り上げて、本町をアピールしていくことが必要ではないか。

答 町長 いい提案をもらったので、智頭急行なり、JR西日本と協議をしていきたいと思う。



智頭急行と更なる連携

問 杉の町、林業の町、本町をアピールするためにも薪を返礼品に組み込んでほしい。

答 町長 これまでも杉の製品を返礼品として渡しているが、それに加えて、薪セット、智頭杉サウナを追加する予定。



北川 貴将

共助交通

課題解決に向けての取り組みは

町長／町民の理解と協力が必要

問 昨年、運用が開始された共助交通「のりりん」について、ドライバールのなり手不足対策は何かあるのか。

答 町長 6月現在、23名ドライバールとして活躍されている。もし人数が減少した場合、緊急時は役場で対応する。その間に、町のために貢献したいという、志を持った方が、徐々に増えたと考える。

問 1年が経過し、更なる利用者の理解と、新たな不満解決に向けて再度、各集落への説明や意見の聞き取りなどを行うために訪問する考えは。

答 町長 利用者に限らず様々な意見が共助交通に対してはあるのだろうと考える。ご理解ができない方は、担当に問い合わせいただき理解して欲しい。不満も理解はできるが、完璧に全てを整えるというのは、まだまだ現実的ではないので一定の理解をいただきたい。



住民の交通手段「のりりん」



仲井 莖

智頭病院

耳鼻咽喉科復活の可能性は

町長／議会の対応を注視

問 智頭病院経営強化プランを達成するためには、医師の確保は必須であると考える。住民から耳鼻咽喉科の復活を求める署名活動が行われた。どのような対応をしているのか、町長の考えは。

答 町長 現在の診療科を維持をするために、引き続き各所に手配して、医師の確保に努めてく。

問 耳鼻咽喉科の件に関しては、このたびの陳情の中で、議会にも提出されている。議会の対応というものを注視しながら、これからを考えていきたい。

問 経営強化プランを実現するためには、まずは町民

答 病院事業管理者 検討を行う上では、地域に出かけて座談会を開催し、今後の病院の在り方について理解をいただき、地域の安全と安心を守る住民のよりどころとして、住民の皆さんと支え合う病院づくりというものを、ともに進めていくことが必要であると考えている。



町民の命と健康を守る智頭病院



波多 恵理子

子育て支援

男性の育児、家事参加 必要ではないように啓発する

問 令和6年5月24日育児と仕事の両立支援を強化する育児・介護休業法などの改正案が成立した。この法律は、男女とも柔軟に働ける仕組みを充実させて、女性に偏っている育児負担を是正し、少子化対策につなげる狙いもある。



答 町長 男性の家事参加、結構なことだと思うし、特に子育てに関して、心も体も健やかな子どもを育てていくためには、男性の育児も当然必要になってくる。育児での孤立がないように、地域全体で子育てできるような体制が必要と思う。



谷口 翔馬

危機 人口減少

今後の定住対策は 町長／どの方法が良いか検討

問 将来、本町が元気なまちとして存続していくためにも、気軽に住める環境づくりが大切だと考えるが、町長が再任され、今後どのように定住対策を講じていくのか。



若者定住が期待される「ゆめが丘」

答 町長 元気なまちとして存続していくため、気軽に住める環境づくりは大切。前期公約としていたゆめが丘に10棟が今年度完了する。そして、隣接した土地を区割り、インフラ整備など、

民生常任委員会の報告

報告者：宮本行雄委員長

副委員長：西尾 委員：仲井、岡田、岩本、安道

4月20日

令和6年度 食生活改善推進協議会の総会開催

1. 活動テーマ 家庭と地域における推進員の役割を自覚し、次代を担う子どもたちへの食育をはじめ、生活習慣病予防のため、食生活改善活動に積極的に取り組む、地域の健康づくりの推進に努めよう。



食生活改善推進協議会の活動の様子

2. 活動目標

①健康ちづ21の普及に努めよう

子どもたちへの正しい食習慣の普及に努めよう。

若年者や成人男性の食生活改善に努めよう。

運動の効用を普及し実践の輪を広げよう。

食事バランスガイドの普及に努めよう。

皆さまも、食生活改善推進協議会の活動に、ご理解とご協力をお願いします。



4月9日

月例委員会

所管各課の事業進捗状況などについて、質疑を行いました。

主な質疑

Q 人・農地プランの地域計画について各地区で座談会を開催している、各部落ごとの課題が出てくる。そこを重点的に進めて行くことが大事だと思うが。



A 人・農地プランを作成する過程において、5年後の目標地図も作っている。人・農地問題については、農業委員会と連携しながら取り組んでいきたいと思っている。

Q 今後の新型コロナウイルスの接種については。

A 今後の予定としては、3月31日で新型コロナウイルスワクチン特例接種が終了したので、今後、助成対象に記述されている方は、定期接種の対象となる。その他の方は、任意接種となる。今年の秋頃から、接種できる予定。費用については、未定であり、メーカーによっては差が出ると思う。

5月14日

主な質疑

Q 智頭町ふるさと整備土木事業の現在の申請件数は。

A 申請の期限が4月30日で、14集落から申請があり、現在審査をしているところである。今月中には決定し、文書発送する予定である。

6月18日

Q 小型歩道除雪機の貸与の状況については。

A 貸与については、10集落を、様々な状況を加味しながら決定した。



小型除雪機

その他、第2期障がい者計画、第7期智頭町障がい福祉計画、第3期智頭町障がい福祉計画が策定されたので、福祉課長より概要の説明を受けた。

調査・視察へ

キャッシュレス事業の導入要望を受けて

(南部町)

4月23日

昨年11月に智頭町商工会と意見交換を行った際、地域活性化策としてキャッシュレス事業があり、智頭町版電子カードを導入して町内経済循環率を高めることで、数億円の経済効果が見込めるという意見が出た。加えて、本年3月定例会に同団体より要望書も提出されたことから、県内の自治体で地域電子カードの事業が行われている南部町へ調査視察を行った。

南部町では町外への消費流失を防ぎ、町内でお金を循環させる取り組みとして電子マネー事業を令和5年11月から始めており、導入総予算は約1千8百万円であった。加盟店の負担額は、月50万円の利用のある店舗を例として端末利用料など約9千円が必要となる。事業所の加入率は、現在24%であり、今後加入していただく方策に、苦慮されているというところであった。

導入の効果としては、町民に一律給付を行う事業などはシステムで一括給付が行えるので印刷・発送の必要がなくなり

※キャッシュレスとは…現金を使わずモノやサービスの支払いをすること。



南部町のスーパーにて「たすカード」を体験中

経費面、期間面ともにコスト削減が図れる。他にも利用者の購買データをリアルタイムで確認でき、事業効果の測定にも活用できるということだった。

この視察を通して、利用者が増えれば店舗の売り上げも上がり、加盟店も増え利用者の利便性も向上するという好循環が生まれると思うが、事業者の理解や加入率がやはり問題点としてあげられ、使う側、事業者が「やって良かった」と思えるよう慎重に進めていく必要性を感じた。

3月13日
5月14日
6月18日

月例委員会

所管各課の事業進捗状況などについて、質疑を行いました。

主な質疑

Q 民間組織の人口戦略会議が発表した消滅可能性自治体に本町も入っていたことを受けて、何か取り組んでいく考えがあるか。

A 総合戦略や移住定住対策などの事業をやってきている中で、今一度検証しながら人口減少対策を行う。

Q 共助交通の夜間運行について、現在19時までの運行だが、21時まで運行してほしいとの声を聞くが検討しているか。

A 運行時間を延ばすと、ドライバーの確保、オペレーターの配置、料金設定など課題をクリアしていく必要があるが、ある程度ニーズはあると思うので、引き続き検討していく。

Q おせっかい奨学生のUターンが、11名と増えてありがたいが分析などしているか。

A 今年度おせっかい奨学生にアンケートを実施する予定にしているので、結果報告をする。

報告者：谷口翔馬委員長

副委員長：田中 委員：北川、波多、大河原、谷口雅

Q

山形の旧町民体育館に企業誘致すると以前伺ったが、その後の状況は。

A

今現在詳細な調査を行っており、前向きに話は進んでいる。地元の方への説明は、分かり次第報告させていただきます。

Q

まちのコイン事業は、稼働しているのか。

A

昨年度末にガチャイベントを2日間開催し、完売した。コインを使えるところが少ないと声があるので、ガチャイベントなどまちの取り組みに絡めていきたい。

Q

本町で起業をして、1年経たず廃業する事業所が立って続けていった。本町も補助金を出しているが、違約金条項など一切ない状況である。町民の税金を投入している以上、違約金など考えるべきではないか。

A

起業しやすい町を目ざしている中で、補助事業に大きな壁になるのではないかと考えている。しかしながら、税金を投入した以上フォローしていかなければならないので、廃業にならないように伴走型支援を行う。

新 議会広報モニター決定

本議会では、議会だよりの編集改善に町民の皆さんからのご意見を反映するため、平成26年度から議会広報モニター制度を実施しています。

令和6年7月末に2年間の任期が満了となることから、新たにご活躍いただく町民の方を募集し、次の方々に議会広報モニターをお願いしました。

新・議会広報モニター

- | | | |
|------|--------|---------|
| 智頭地区 | 玉木良房さん | 国本恵祐さん |
| | 寺坂健汰さん | 中田愛子さん |
| | 矢部聡子さん | 米井美由紀さん |
| 山形地区 | 酒本 浩さん | 勢登郁代さん |
| 那岐地区 | 森次仲男さん | 奥井彩音さん |
| 土師地区 | 草刈久富さん | 木村貴代香さん |
| 富沢地区 | 藤森茂樹さん | 大原直子さん |
| 山郷地区 | 早瀬武洋さん | 小林綺羅々さん |

(※新モニターの印)

◆新議員の紹介◆

令和6年6月9日
執行の町会議員
補欠選挙により、
新たに2名の議員
が加わりました。



【北川貴将 議員】41歳



智頭町全ての世代が、住んで良かったと思えるような町づくりを目ざし、皆様に寄り添い、自分らしい視点で精一杯取り組みます。

【岩本富美男 議員】74歳



6月の補欠選挙により、再度、議員として智頭町のために、議員活動に取り組みたいと思います。

議会だより166号に関する
議会広報モニターからの
ご意見を紹介
(町民7名)

【議会だよりの編集に関すること】

全体の構成(見やすさ・記事量など)に関する意見

『よい』 12名、
『普通』 4名、
『悪い』 1名でした。



わかりにくい言葉など
説明が必要な内容に関する意見

3ページ

Q 「特定空き家」の認定要件を教えてください。

A 町の判定マニュアルに基づき、担当課が現地に赴き判断します。

Q 千代田区CO₂連携事業とは具体的にどのような取り組みをするのか知りたいです。

A 「2050年脱炭素社会実現に向けた連携協定書」に基づき、町有林の森林整備と、これに伴うCO₂吸収量の認証を行うとともに、森林整備に要する経費の一部を千代田区に負担していた

※モニターさんの意見は原文のまま掲載しています。

できます。今後、千代田区での木材利用の推進などについて、連携しながら取り組んでいきます。

4ページ

Q 子どもから大人までの学びと成長のまちづくりの予算で特定地域づくり事業の事業内容が分かりませんが、説明があればとおもいます。いつ頃から始めている(始める)のか知りたい。

A 地域人口の急減に直面している地域において、地域産業の担い手を確保するために制定された総務省の「特定地域づくり事業制度」に基づく事業で、マルチワークの形で複数の企業に派遣を行う人材派遣事業です。智頭町については、「智頭町複業協同組合」という事業体が令和3年に発足し、令和4年度から本格的に稼働しています。国や県からの補助と併せて、智頭町としても補助を行っています。

【町政全般・議会活動に関すること】

特に気になったページに関する意見

10ページ

・やはり、子を持つ親としては、智頭公園がほしい。出来れば、図書館の近くで！そうすれば、本を読みたい女の子と外で遊びたい男の子を同時に連れて

いけるし、急な雨でも図書館で雨やどりが出る。いつもだと町外の公園に子どもを連れていき、その周辺で昼ご飯を食べ、買物をして帰るといふ流れだけど、この流れを町内の中心部に持ってくれば、智頭の中心部のお店に恩恵があると思う。

その他に関する意見

・以前から消防資機材車が智頭消防署の跡地等の屋外に置かれているのが気になります。

・昨年の雪の多い時なんかにも消防車が雪だるまになってる状態。火災等をはじめとした出勤時にも、迅速な出勤が出来ないだけでなく、町民の防災意識に対する町への信頼感も薄れてしまっているのではないかと感じます。予算の関係で困難かもしれませんが保管場所の整備が必要ではないかと思えます。

・私は、今回初めて議会広報モニターのアンケートをしてみても、広報モニターは、一般質問や、当初の予算など、自分でも見やすく、分かりやすかったです。あと自分は、意見の要旨について、Q&Aなどにして、一言でいいので書いたほうがいいんじゃないかと思えます。【中学生モニターより】

鳥取県 東部地区議員研修会

■研修日 令和6年4月19日(金)

■場所 八頭町「船岡地区公民館」

■演題

「できるかできないかではなくやるかやらないか」

■講師 S M B C日興証券所属

パラリンピックアスリート

三澤 拓 氏

■参加者 議員9名

■所感

今年度の研修会は今年パリオリンピック・パラリンピックが開催されることもあり、多様性を尊重する社会づくりという意味合いを込めて障がい者アスリートの三澤拓(みさわ ひらく)氏が講師で招聘された。

三澤氏は6歳の冬に、事故で左脚の太ももから下を失った。しかし、その後義足を使用して様々なスポーツに挑戦し、15歳からパラアルペンスキーのナショナルチームに加入し、国内大会で優勝を経験。世界で戦うことを見据えてニュージーランドの高校に入学し、語学とスキーを学び、パラリンピック初出場となった2006年トリノパラリンピックでは、回転で5位に入賞し、以来5大会連続でパラリンピックに出場している。



義足を装着し熱意溢れる講演

片脚を切断するということは、私たち健常者にとって想像すらできないが、三澤氏は、障がいがあることを悲観することなく目標に向かって進んできた。

そこには、三澤氏のチャレンジを後押しした母親の数々の言葉があったと感じた。この前向きな言葉があったからこそ、いろいろなことに挑戦できたのだろうと思う。「何事にもチャレンジすることが大切であり、仮に結果は出なくても一生懸命やっつて、頑張つて笑顔で終われることが大切」という言葉が特に印象に残った。また、S M B C日興証券の経営理念として、「多様性の尊重」を掲げておられ、障がい者を含む多様な人々がいきいきと暮らしていける「共生社会」の実現に取り組んでおられることに、感銘を覚えた。

智頭町消防団水防訓練

■研修日 令和6年5月26日(日)

■場所 旧土師小学校グラウンド

■訓練の内容

- ① 水防実技・手順等の確認
- ② 避難誘導
- ③ 負傷者輸送等の手順確認

■目的

台風期(出水期)にそなえ河川等の氾濫に対応する防災訓練を行い水防実技の向上を図り、防災体制の万全を期し、住民の安全を保持することを目的に訓練が実施された。そこに、参加することにより、議員個人の防災意識を高めることができる。



ロープのもやい結び・巻結び訓練



水防工法の基本土のう作り

日本の原風景が残る自然豊かな智頭町に

岡本貴教・淑子さん(那岐地区)

僕たち夫婦は、今年3月に智頭町に転入・入籍して、暮らしをスタートさせました。

僕は高知、妻は岡山の生まれです。高知で新生活をスタートする予定でしたが、妻が7年間暮らしたこの町に帰ってきました。

何度も訪れたことのある智頭町は、身近にある澄んだ川や蛍が飛び交う夏の夜、雪景色が気に入っていました。古民家で過ごすのは生まれて初めてで、越してしばらく続いた早春の寒さは、眠れないほどでした。

智頭に来て初めての仕事は、「遺跡調査の仕事があるよ。」と声をかけていただき、夫婦揃って働くことになりました。現場では、シルバー人材センターから派遣されている地元の大先輩方と一緒に汗を流しながら

ら、作業の合間に畑や草刈りなどのコツをいろいろと教えていただきました。

家では、見よう見まねで土を耕し畝をたてて、分けていただいた種や苗を植えて育てています。途中枯れたり虫に食べられたりで、収穫できるものは少ないですが、育てた作物を料理して食べる喜びも味わうことができました。

大家さんやご近所の方から新鮮な野菜に山菜、お花を分けていただくお陰で、食卓が賑やかです。

こうしたお付き合いや、集落のさまざまな活動への参加など、密な関わりを持つことが、これまでの人生で経験がなかったもので、戸惑うことも

あります。けれど、それをご理解いただいている方から「できる範囲で大丈夫」と、言葉をかけてくださる。お心遣いに感謝しています。これから、一つ一つチャレンジして行きたいと思います。また、議会でどんな話し合いがされているか、傍聴に行ったことがないので、足を運んでみたいと考えています。



岡本ご夫妻

編集後記

6月に行われた智頭町議会議員補欠選挙で、2名の方が当選され、現在約1年ぶりとなる12名体制で議会運営を行っています。

しかしながら、智頭町議会議員補欠選挙が無投票であったことから、議員としての魅力発信、そして立候補できる体制づくりが、まだまだできていなかったというのも事実であり、これからの1年間、議員としての魅力発信、立候補できる体制づくりを考えると共に、この生まれ育った智頭町が末永く元気な町としていられるように、議員12人で知恵、力を振り絞り一丸となつて頑張っていきたいと思えます。今後とも、どうぞよろしくお願ひします。

(谷口翔)

編集 広報広聴常任委員会

委員長 波多恵理子

以下議員全員

発行責任者 議長 谷口 雅人